

くらしき子ども未来プラン後期計画『実施計画2020』事業一覧のうち、子どもの貧困対策に資するものとして選抜して追加した44事業

※予算額の欄のカッコ内は繰越予算額

継続：前年度に引き続き、同程度を実施
 拡大：一部、新規開始など、前年度よりも充実
 縮小：予算規模や事業の対象年齢の縮小など

検討：事業の見直し、新規事業などを検討
 統合：別事業に統合し、事業を継続
 完了：目的を達成し、事業を終了

事業計画ページ	施策番号	単位施策	施策の概要	所管課	事業名	再掲	概要	R2年度 予算額 (千円)	R1年度 予算額 (千円)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考			
P23	13	子どもの貧困状態が改善され、大人になって貧困状態にならないよう切れ目なく支援する	子どもの状況に応じた学習支援、多様な体験活動の提供を行い、進学・就学への意欲向上を図るとともに、子どもの生きる力の育成に努めます。また、専門の支援員等による家庭訪問を通じて支援を行い、子どもの生活や学習面での困難な状況の改善を支援します。	福祉援護課	小学生等訪問型学習・生活支援事業	○	様々な困難を抱える小学生等のいる世帯に対して、専門支援員が巡回訪問による生活習慣や学習習慣の習得に向けた支援をするほか、子育てに関する情報提供をするなど保護者への養育支援を行い、子どもの学習・生活環境の改善を図る。	7,373	7,273		継続	継続	継続	継続	継続				
				福祉援護課	学習教室「くらすぼ」運営事業	○	貧困の連鎖を防ぐため、生活に困窮する世帯の中学生に対し、学習支援を行うとともに、社会性や他者との関係を育む支援を実施する。	17,345	17,985	拡大	拡大	継続	継続	継続	継続	継続			
				指導課	放課後学習サポート事業	○	小中学校に放課後学習支援員を配置し、学習内容の理解を深めるため、学習支援ソフト等を活用して、児童生徒の状況に応じた学習支援を行い、基礎基本の学力の定着を図る。	10,789	9,033	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				指導課	キャリア教育の推進	○	地域における職場体験活動(倉敷チャレンジワーク14)を通して、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、自己の生き方を考え、様々な課題を乗り越えながら学習や生活にチャレンジすることができるように支援する。	2,442	2,350	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
				指導課 学事課	不登校児童・生徒支援員等配置事業	○	教育相談や生徒指導・学習指導を行う支援員を小学校に配置し、不登校児童とのかかわりや家庭訪問等を通じて、保護者との連携の下にいじめや不登校の未然防止や解決を目指す。また、教師カウンセラーを全中学校に配置し、教職員、スクールカウンセラー、不登校生徒支援員等との連絡・調整を図り、家庭訪問をして不登校生徒の学校復帰を支援し、いじめや不登校の未然防止や早期解決に向けた取組を推進する。	60,468	59,315	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
				子育て支援課	ひとり親家庭等日常生活支援事業		母子・父子家庭、寡婦を対象に、就業等の自立のために必要な事由、及び疾病等の理由により、一時的に生活援助が必要な場合、又は生活環境の激変により日常生活を営むのに支援が必要な場合に、家庭生活支援員の派遣を行う。	168	168	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				生涯学習課	「生きる力」支援事業		不登校及びその傾向のある子どもたちに対して、地域社会との接点として、居場所の設置や体験活動イベントを行うことで、「生きる力」の育成に努め、自立を支援するとともに、保護者の心理的負担を軽減するための相談会を行う。	1,152	1,117	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				生涯学習課	学び直し支援事業		高梁川流域圏域の引きこもりやニート状態にある15歳～39歳までの若者を対象に、基礎的な学習及び人との関わりを学ぶ場を開設し、社会参画しようとする主体的な取組を支援する。	9,386	9,739	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
P23	13	子どもの貧困状態が改善され、大人になって貧困状態にならないよう切れ目なく支援する	子どもの困難な状況を早期に発見するため、乳幼児の健康診査や学校園での相談内容により、必要に応じて、専門機関につなげていきます。また、大人になって貧困状態にならないよう、切れ目なく支援するため、子どもの状況に応じてカウンセリング、学習支援、居場所などにつなぎます。	指導課 保育・幼稚園課	学校園での相談・つなぎ		学校園で子どもの困りごとなどの相談を聞くことなどで、状況を把握し、相談内容や状況に応じた専門機関につなげていく。	-	-		継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				指導課	スクールカウンセラー等派遣事業	○	いじめ、不登校をはじめとする児童生徒の学校不適応問題に対応するため、国のスクールカウンセラーが配置されていない39小学校及び5高等学校、1特別支援学校、5適応指導教室に単市予算でスクールカウンセラーを派遣する。また、教師カウンセラー、不登校支援、教員等に専門的な見地から指導助言するスーパーバイザーを1人委嘱し、不登校対策や教育相談の質的な充実を図る。	18,517	19,788	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				指導課	教育相談員配置事業	○	保護者及び学校からの相談に応じ、適切な就学相談・教育支援を進めるため、特別支援教育推進室へ教育相談員を配置し、相談体制の充実を図る。	2,591	2,567	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
				子ども相談センター	児童虐待防止事業	○	児童虐待の早期発見、未然防止のため、児童相談所や学校園等の関係機関と連携し、児童やその保護者に対して適切な養育ができるよう支援を行う。	31,099	25,371	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	

くらしき子ども未来プラン後期計画『実施計画2020』事業一覧のうち、子どもの貧困対策に資するものとして選抜して追加した44事業

※予算額の欄のカッコ内は繰越予算額

継続：前年度に引き続き、同程度を実施
 拡大：一部、新規開始など、前年度よりも充実
 縮小：予算規模や事業の対象年齢の縮小など

検討：事業の見直し、新規事業などを検討
 統合：別事業に統合し、事業を継続
 完了：目的を達成し、事業を終了

事業計画ページ	施策番号	単位施策	施策の概要	所管課	事業名	再掲	概要	R2年度 予算額 (千円)	R1年度 予算額 (千円)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考
				健康づくり課	すこやか親子相談	○	各種乳幼児健康診査・未熟児の訪問指導等において、育児負担感があり、児童虐待予防のため、カウンセリングが必要と認められる保護者に対して相談及び指導・支援を実施する。	128	128	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				健康づくり課	健康診査未受診児訪問調査事業	○	1歳6か月児、3歳児健康診査の未受診児の家庭を訪問し、受診勧奨を行うとともに、必要に応じて育児相談を実施する。	1,937	1,988	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
P30	26	様々な困難を抱える家庭の生活課題に着目し、寄り添う支援をする	離婚、債務、DV、障がい、住居、家計、就労などで困難を抱える保護者の困りごとや悩みの相談を受け、状況に応じて訪問し、その家庭が社会的に孤立することのないよう、家庭に寄り添う支援を行います。	福祉援護課	生活困窮者自立相談支援事業		生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、生活困窮者に対する相談窓口として「倉敷市生活自立相談支援センター」を設置し、相談者とともに作成するプランに基づき、関係機関と連携しながら、本人の状態に応じた、包括的かつ継続的な相談支援を実施する。	54,206	53,497		継続	継続	継続	継続	継続	
				福祉援護課	家計改善支援事業		家計の管理に問題を有する生活困窮者に対して、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す相談支援を行う。	3,210	3,177		継続	継続	継続	継続	継続	
				消費生活センター	消費生活相談のうち、多重債務に関する相談		保護者の貧困(多重債務)により、家庭が貧困状態に陥っている可能性があり、貧困の解決に向け多重債務(保護者)の相談に応じる	—	—		継続	継続	継続	継続	継続	
				男女共同参画課	男女共同参画推進センター運営事業	○	男女共同参画を進める拠点施設として、男女共同参画意識啓発のための講座開催や男女共同参画を推進する団体の活動支援などをはじめ、情報の収集・提供、学習や交流機会の提供などを行い、男女共同参画社会の実現を目指す。また、DVや離婚などの悩みに、専門の相談員4名が電話や面談で応じ、情報提供や助言を行う。予約制で女性の弁護士による法律相談も行っている。	34,100	27,416		継続	継続	継続	継続	継続	
				男女共同参画課	高梁川流域配偶者暴力相談支援事業	○	高梁川流域圏内を対象にDV被害者の相談・支援業務を行うとともに生き方、家族や夫婦などの悩み事など、男女共同参画社会づくりを妨げる様々な問題に関する相談に電話や面接などで相談員が応じる。	11,502	10,824	継続	継続	継続	継続	継続		
				障がい福祉課	地域生活支援事業(地域活動支援センター1型)		創作活動や社会との交流促進等の支援を行うほか、福祉サービスの利用者や日常生活の困りごと、住宅の入居など専門の相談員が相談に応じる。 対象:身体障がい者手帳所持者、自立支援医療受給者、精神障がい者を自由とする障がい年金等を受給している方、難病患者等	164,931	163,926		継続	継続	継続	継続	継続	
				子育て支援課	母子・父子自立支援事業	○	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等を対象とした生活・就労面の情報提供や、母子父子寡婦福祉資金の貸付相談業務を行う。	11,627	15,721	継続	継続	継続	継続	継続		
				保健課	精神保健相談・訪問指導事業	○	精神科医や保健師等による心の健康等精神保健一般についての電話・面接相談や訪問支援を行う。	428	426		継続	継続	継続	継続		
				子ども相談センター	児童虐待防止事業	○	児童虐待の早期発見、未然防止のため、児童相談所や学校園等の関係機関と連携し、児童やその保護者に対して適切な養育ができるよう支援を行う。	31,099	25,371		継続	継続	継続	継続		
P30	26	様々な困難を抱える家庭の生活課題に着目し、寄り添う支援をする	保護者が仕事や子育て及び生活について相談しやすい体制を整備します。また、支援が必要な家庭について、関係機関で連携しながら、ニーズに応じた支援に努めます。	生活福祉課	生活保護制度に係る被保護者就労支援事業		働く意欲や能力がありながら就労の機会を得ることができない者や適切な求職活動を行えない者に対して、公共職業安定所(ハローワーク)や就労に関する専門的な知識・経験等を有する就労支援員と連携をとりながら、被保護者に対する適切な支援を行うことにより、就労自立の促進を図る。	13,463	13,019		継続	継続	継続	継続	継続	
				障がい福祉課	発達障がい者支援体制整備事業		倉敷市における発達障がい者を有する障がい児者について、ライフステージに応じた支援体制の整備を図るため、発達障がい者支援センターの業務について委託を行う。	11,066	11,066		継続	継続	継続	継続		
				健康づくり課	子育て世代包括支援センター運営事業	○	市内5か所の「妊婦・子育て相談ステーションすくすく」を運営し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の充実を図る。	28,008	24,372	継続	継続	拡大	継続	継続	継続	令和2年度から母子保健相談員が1名増員となる。(7名→8名)

くらしき子ども未来プラン後期計画『実施計画2020』事業一覧のうち、子どもの貧困対策に資するものとして選抜して追加した44事業

※予算額の欄のカッコ内は繰越予算額

継続：前年度に引き続き、同程度を実施
 拡大：一部、新規開始など、前年度よりも充実
 縮小：予算規模や事業の対象年齢の縮小など

検討：事業の見直し、新規事業などを検討
 統合：別事業に統合し、事業を継続
 完了：目的を達成し、事業を終了

事業計画ページ	施策番号	単位施策	施策の概要	所管課	事業名	再掲	概要	R2年度 予算額 (千円)	R1年度 予算額 (千円)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考		
				労働政策課	生活相談事業	○	就業や生活の相談・支援等を目的として、「ワークプラザたましま」職業情報提供コーナー」を運営し、雇用を促進するとともに、求職者のニーズに合った情報を提供する。	7,305	7,154		継続	継続	継続	継続	継続			
				子ども相談センター	家庭児童相談事業	○	児童の生活習慣、しつけ、いじめ、虐待、不登校等について、専任の相談員が保護者からの相談に応じ、助言を行うとともに、必要に応じて専門機関につなげる。	8,559	8,474		継続	継続	継続	継続	継続			
P33	30	福祉や教育、地域が協働し、困難を抱える家庭を支える体制づくりを促進する	様々な困難を抱える家庭の子どもが、学習、文化・野外活動などの経験が不足することがないよう、地域で行われている、子どもの学び、遊び、居場所などの活動の周知に努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	○	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て勉強やスポーツ・文化活動等を行う。	7,751	8,638	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				生涯学習課	家庭教育学級開設事業	○	家庭や地域における教育力向上を目的とした学習機会を提供するため、保護者や地域住民等を対象として、家庭教育学級を開設する。	1,526	1,391	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				生涯学習課	冒険遊び場支援事業	○	既製遊具や禁止事項をなるべく設けず、子どもたちが、自ら判断・決断しながら、自由に遊びを創造していく「冒険遊び場」活動を支援する。	286	286	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
				保健福祉推進課	地域福祉基金助成事業	○	民間活動の活性化を図りつつ、地域ぐるみで市民の保健福祉の増進を図ることを目的として、市内に活動拠点を置くボランティア団体又はNPO法人等が行う、「在宅福祉の普及又は向上に関する事業」、「健康づくり、生きがいづくり、自立支援及び社会参加の推進に関する事業」、「ボランティア活動の活性化に関する事業」に対して、活動経費の範囲内で助成金(1年目:10万円、2年目:7.5万円、3年目:5万円)を支給する。	1,250	1,250		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				子育て支援課	児童センター・児童館運営事業 地域子育て支援拠点事業 子育てカレッジ事業(市短) 子育て広場開設事業	○	児童館・児童センターや地域子育て支援拠点、子育て広場などで、親子のふれあいを促進する。	393,418	354,965	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				地域包括ケア推進室	地域支え合い推進事業		高齢者、障がい者、子どもといった世代、分野を越えて支え合う地域づくりを推進するため、専門機関と連携強化を図るとともに、連携の好事例等をガイドブックにまとめ情報発信する。	1,547	1,501		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				子育て支援課	放課後児童クラブ実施事業	○	仕事などで昼間家庭に保護者がいない児童に、放課後などに適切な遊びや生活の場を確保する。増加する利用ニーズに対応するため、余裕教室等の学校施設の活用をはじめ、近隣の民家の活用を積極的に行う。また、多様な研修を通じて、運営力の向上を図る。	1,935,744	1,486,751	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
P33	30	福祉や教育、地域が協働し、困難を抱える家庭を支える体制づくりを促進する	福祉や教育等の関係部署、地域の子育てに関わる団体等がそれぞれの分野を通じて、困難を抱える家庭を支える地域づくりを推進するため、関係機関との情報共有や連携強化を行い、総合的な支援体制の充実を図ります。	生涯学習課 指導課	地域連携による学校支援事業	○	地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図る。	51,609	45,686	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				指導課	学校問題支援プロジェクト事業	○	推進会議やチーム会議の開催、支援スタッフの配置等により、児童生徒の暴力行為や不法行為、いじめ、児童虐待などに起因する学校生活への不適応、保護者からの理不尽な要求や苦情など学校だけでは解決が難しい問題等に適切に対応し、学校への効果的かつ機能的な援助を行う。	14,961	12,358	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
				福祉援護課	民生児童委員活動事業	○	地区民生委員児童委員協議会への補助等により、民生委員・児童委員の活動を助長促進する。	52,374	52,374	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
				障がい福祉課	基幹相談支援センター運営事業		市内6か所の地域活動支援センター1型等の調整役として、緊急時の対応、相談支援事業者に対する専門的な指導・助言や人材育成の支援、障がい者虐待防止対策などを行う。	19,830	19,830		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				障がい福祉課	障がい児通所支援事業	○	児童発達支援(未就学の児童に対する療育)、放課後等デイサービス(就学後の児童に対する療育)などにより、障がい児に、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う。	2,019,587	1,845,116	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	

くらしき子ども未来プラン後期計画『実施計画2020』事業一覧のうち、子どもの貧困対策に資するものとして選抜して追加した44事業

※予算額の欄のカッコ内は繰越予算額

継続：前年度に引き続き、同程度を実施
 拡大：一部、新規開始など、前年度よりも充実
 縮小：予算規模や事業の対象年齢の縮小など

検討：事業の見直し、新規事業などを検討
 統合：別事業に統合し、事業を継続
 完了：目的を達成し、事業を終了

事業計画ページ	施策番号	単位施策	施策の概要	所管課	事業名	再掲	概要	R2年度 予算額 (千円)	R1年度 予算額 (千円)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考
				障がい福祉課	総合療育相談センター事業	○	総合療育相談センター「ゆめばる」を運営し、各関係機関との情報共有や連携による支援体制のもと、子どもの成長・発達に応じて、障がいに対する気づきから障がい受容、療育、就学まで切れ目のない総合的な支援を行う。	—	—	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				地域包括ケア推進室	生活支援コーディネーター配置事業		生活支援体制整備事業の取組により、地域包括ケアシステムの構築を進め、高齢者が地域で元気にいきいきと活動できるようにし、社会参加を進めることをもって、健康寿命の延伸、地域での支え合い活動を推進していく。	40,873	31,725		継続	拡大	継続	継続	継続	令和2年7月から生活支援コーディネーターが1名増員となる。(5名→6名)
				市民活動推進課	コミュニティ活動推進事業	○	コミュニティ協議会を対象に、地域のふれあいや交流のための行事やイベントなど、地域課題の解決に向けた活動に対して補助金を交付する。	28,331	27,900	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				健康づくり課	愛育委員会活動	○	行政と連携して母子保健活動を行うとともに、保健師と地域のパイプ役を担う。	7,632	7,632	継続	継続	継続	継続	継続	継続	

※ 個々の事業について子どもの貧困対策に資する部分の事業費のみを抜き出すことは不可能であるため、右の予算額は44事業の単なる合計であることに留意が必要。	5,119,618	4,418,668
--	-----------	-----------